

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3620738号
(P3620738)

(45) 発行日 平成17年2月16日(2005.2.16)

(24) 登録日 平成16年11月26日(2004.11.26)

(51) Int.Cl.⁷

F I

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/10

G 1 1 B 20/10 3 O 1 Z

G 1 1 B 27/00

G 1 1 B 27/00 D

G 1 1 B 27/34

G 1 1 B 27/34 P

H O 4 N 5/92

H O 4 N 5/92 H

請求項の数 2 (全 20 頁)

(21) 出願番号 特願2002-253127 (P2002-253127)

(22) 出願日 平成14年8月30日(2002.8.30)

(62) 分割の表示 特願2001-131806 (P2001-131806)
の分割

原出願日 平成9年11月21日(1997.11.21)

(65) 公開番号 特開2003-132640 (P2003-132640A)

(43) 公開日 平成15年5月9日(2003.5.9)

審査請求日 平成14年9月30日(2002.9.30)

(73) 特許権者 000004329

日本ビクター株式会社

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12
番地

(72) 発明者 田中 美昭

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12
番地 日本ビクター株式会社内

(72) 発明者 植野 昭治

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12
番地 日本ビクター株式会社内

(72) 発明者 淵上 徳彦

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12
番地 日本ビクター株式会社内

審査官 齋藤 哲

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ディスク再生方法及びオーディオ信号の記録再生方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

補助信号の記録領域と主信号の記録領域とが連続して配置されたディスクであって、前記主信号の記録領域に、

オーディオデータを含む第1のオーディオパックと、前記第1のオーディオパック内の前記オーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及び前記文字情報の言語の種類を示す言語コードデータを含む文字表示パックと、前記第1のオーディオパックの再生を制御する情報を含むA M G I管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記第1のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第1のファイル構造(オーディオ・タイトルセット)が記録され、さらに、ビデオデータを含むビデオパックと、前記ビデオデータのオーディオデータを含む第2のオーディオパックと、前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する情報を含むV M G I管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記ビデオパックと第2のオーディオパックとを含むタイトルからなる第2のファイル構造(ビデオ・タイトルセット)が記録されると共に、前記A M G I管理エリアには前記第1のオーディオパックの再生を制御する第1の情報に加え前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する第2の情報が記録されるディスクを再生するディスク再生方法であって、

前記ディスクから少なくとも第 1 のオーディオパック及び文字表示パックを再生する再生ステップと、

前記再生ステップにより再生された文字表示パックからオーディオデータに関する文字情報をデコードする第 1 のデコードのステップと、

前記再生ステップにより再生された文字表示パックから表示時間制御データ及び言語コードデータをデコードする第 2 のデコードのステップと、

前記第 1 のデコードのステップによりデコードされた文字情報を前記第 2 のデコードのステップによりデコードされた表示時間制御データ及び言語コードデータに基づいて表示するステップと、

前記ディスクから前記 A M G I 管理エリアの第 2 の情報に基づき前記ビデオパックと前記第 2 のオーディオパックの再生を制御するステップと、

からなるディスク再生方法。

【請求項 2】

補助信号の記録領域と主信号の記録領域とが連続して配置されたディスクの前記主信号の記録領域に、

オーディオデータを含む第 1 のオーディオパックと、

前記第 1 のオーディオパック内の前記オーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及び前記文字情報の言語の種類を示す言語コードデータを含む文字表示パックと、

前記第 1 のオーディオパックの再生を制御する情報を含む A M G I 管理エリアとを配置したデータ構造を有し、

前記第 1 のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第 1 のファイル構造（オーディオ・タイトルセット）を記録し、

さらに、ビデオデータを含むビデオパックと、前記ビデオデータのオーディオデータを含む第 2 のオーディオパックと、前記ビデオパックと前記第 2 のオーディオパックの再生を制御する情報を含む V M G I 管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記ビデオパックと第 2 のオーディオパックとを含むタイトルからなる第 2 のファイル構造（ビデオ・タイトルセット）を記録すると共に、

前記 A M G I 管理エリアには前記第 1 のオーディオパックの再生を制御する第 1 の情報に加え前記ビデオパックと前記第 2 のオーディオパックの再生を制御する第 2 の情報を記録するステップと、

請求項 1 に記載の再生方法で再生するステップと、

からなるオーディオ信号の記録再生方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、オーディオ信号の曲名などを示す文字情報その他を記録したディスクからそれらの記録した情報を表示するためのディスク再生方法及びオーディオ信号の記録再生方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、音楽ソースのオーディオ信号の曲名などの文字情報やその他の制御情報を記録した媒体としては C D（コンパクト・ディスク）が知られている。従来の C D では、文字情報を記録する場合、P、Q、R、W、S、T、U、V、W の 8 ビットのサブコードの内、R から W までの 6 ビットのチャンネルを利用して記録している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、C D では音楽ソースの内容を示す文字情報その他がディスク上に散在して配置されて記録されているので、例えば再生中の音楽ソースに追従してかつ瞬時に変化させながら表示することが困難であり、したがって、再生中の音楽ソース（A）に対して文

10

20

30

40

50

字（V）をA - V効果的に表示することができないという問題点がある。

【0004】

ところで、DVD（デジタル・バーサタイル・ディスク）-ビデオディスクでは、映画などの動画の字幕スーパーなどを記録する場合には連続的に配置して記録することが行われる。しかしながら、DVDに対して音楽ソースなどのオーディオデータを主として記録するDVDオーディオディスクを考えると、この方法ではオーディオデータの割り当てが減少するという問題点がある。

【0005】

本発明は上記の問題点に鑑み、音楽ソースなどのオーディオデータや、その内容を示す文字情報を記録したディスクからそれらの記録した情報を表示することができるディスク再生方法及びオーディオ信号の記録再生方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記課題を解決するために、以下の手段よりなる。

すなわち、請求項1に係る発明は、補助信号の記録領域と主信号の記録領域とが連続して配置されたディスクであって、前記主信号の記録領域に、オーディオデータを含む第1のオーディオパックと、前記第1のオーディオパック内の前記オーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及び前記文字情報の言語の種類を示す言語コードデータを含む文字表示パックと、前記第1のオーディオパックの再生を制御する情報を含むAMGI管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記第1のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第1のファイル構造（オーディオ・タイトルセット）が記録され、さらに、ビデオデータを含むビデオパックと、前記ビデオデータのオーディオデータを含む第2のオーディオパックと、前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する情報を含むVMGI管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記ビデオパックと第2のオーディオパックとを含むタイトルからなる第2のファイル構造（ビデオ・タイトルセット）が記録されると共に、前記AMGI管理エリアには前記第1のオーディオパックの再生を制御する第1の情報に加え前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する第2の情報が記録されるディスクを再生するディスク再生方法であって、

前記ディスクから少なくとも第1のオーディオパック及び文字表示パックを再生する再生ステップと、前記再生ステップにより再生された文字表示パックからオーディオデータに関する文字情報をデコードする第1のデコードのステップと、前記再生ステップにより再生された文字表示パックから表示時間制御データ及び言語コードデータをデコードする第2のデコードのステップと、前記第1のデコードのステップによりデコードされた文字情報を前記第2のデコードのステップによりデコードされた表示時間制御データ及び言語コードデータに基づいて表示するステップと、前記ディスクから前記AMGI管理エリアの第2の情報に基づき前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御するステップと、からなるディスク再生方法である。

また、請求項2に係る発明は、補助信号の記録領域と主信号の記録領域とが連続して配置されたディスクの前記主信号の記録領域に、オーディオデータを含む第1のオーディオパックと、前記第1のオーディオパック内の前記オーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及び前記文字情報の言語の種類を示す言語コードデータを含む文字表示パックと、前記第1のオーディオパックの再生を制御する情報を含むAMGI管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記第1のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第1のファイル構造（オーディオ・タイトルセット）を記録し、さらに、ビデオデータを含むビデオパックと、前記ビデオデータのオーディオデータを含む第2のオーディオパックと、前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する情報を含むVMGI管理エリアとを配置したデータ構造を有し、前記ビデオパックと第2のオーディオパックとを含むタイトルからなる第2のファイル構造（ビデオ・タイトルセット）を記録すると共に、前記AMGI管理エリアには前記第1のオ

10

20

30

40

50

オーディオパックの再生を制御する第1の情報に加え前記ビデオパックと前記第2のオーディオパックの再生を制御する第2の情報を記録するステップと、請求項1に記載の再生方法で再生するステップと、からなるオーディオ信号の記録再生方法である。

【0007】

【発明の実施の形態】

以下、図1～図18を参照して本発明の第1の実施の形態を説明する。図1は本発明に適用されるオーディオ信号のエンコード装置の一実施形態を示すブロック図、図2は図1の信号処理回路を詳細に示すブロック図である。なお、各実施の形態では所定規格の例として、DVDビデオ規格を例としてあげて説明する。

【0008】

図1において、アナログオーディオ信号AはA/Dコンバータ31により十分高いサンプリング周波数(サンプリング周期 t)、例えば192kHzでサンプリングされて例えば24ビットの高分解能のPCM信号に変換され、高分解能の曲線 に対応するデータ列 $x_{b1}, x_1, x_{a1}, x_2, x_{b2}, x_3, x_{a2}, \dots, x_{bi}, x_{2i-1}, x_{ai}, x_{2i}, \dots$

に変換される。このデータ列($x_{bi}, x_{2i-1}, x_{ai}, x_{2i}$)は図2に詳しく示す信号処理回路32及びメモリ33によりエンコードされ、次いでDVDフォーマット化部34に印加される。

【0009】

図2を参照して信号処理回路32の構成を詳しく説明する。まず、1/2の帯域を通過させるローパスフィルタ36、例えばFIRフィルタにより、高分解能の曲線 に対応するデータ列($x_{bi}, x_{2i-1}, x_{ai}, x_{2i}$)から、帯域制限された低分解能の曲線 に対応するデータ列

$x_{c1}, *, *, *, x_{c2}, *, *, *, x_{c3}, *, *, *, \dots, x_{ci}, *, *, *, \dots$

を得、次にこのデータ列の内、データ「*」を間引き回路37により間引くことによりデータ列

$x_{c1}, x_{c2}, x_{c3}, \dots, x_{ci}, \dots$

を生成する。ここで、データ列 x_{ci} はA/Dコンバータ31によりA/D変換されたデジタルデータを帯域制限してサンプリング周波数を1/4に低減したデータ列となっている。

【0010】

また、データ列($x_{bi}, x_{2i-1}, x_{ai}, x_{2i}$)の内、データ x_i を間引き回路38により間引くことによりデータ列

$x_{b1}, x_{a1}, x_{b2}, x_{a2}, \dots, x_{bi}, x_{ai}, \dots$

を生成する。

【0011】

そして、これらのデータ列 x_{ci} 、 x_{bi} 、 x_{ai} に基づいて、差分計算器として作用する加算器39により差分

$x_{bi} - x_{ci} = 1i$

$x_{ai} - x_{ci} = 2i$

を演算する。ここで、差分データ $1i$ 、 $2i$ は例えば24ビット又はそれ以下であり、また、ビット数は固定でも可変でもよい。

【0012】

アロケーション回路40はデータ列 x_{ci} 及び差分データ $1i$ 、 $2i$ をユーザデータ(図4参照)にパッキングし(1パケット=2034バイト)、そのユーザデータをDVDフォーマット化部34に出力する。また、16ビットの場合には高分解能のサンプリング周波数のままのデータ列をユーザデータにパッキングし、そのユーザデータをDVDフォーマット化部34に出力するようにしてもよい。

【0013】

10

20

30

40

50

また、ビデオ信号VはA/D変換器31Vによりデジタル信号に変換され、次いでこのデジタルビデオ信号がVエンコーダ32VによりMPEGフォーマットにエンコードされ、次いで図4に示すユーザデータにパッキングされてDVDフォーマット化部34に印加される。そして、DVDフォーマット化部34は図3～図11に示すようなフォーマットにパッキングする。このDVDフォーマット化部34によりフォーマット化されたデータは、変調回路35によりディスクに応じた変調方式で変調され、この変調データに基づいてディスクが製造される。

【0014】

図3は本発明に適用されるディスクのフォーマットを示す説明図、図4は図3のオーディオパックとビデオパックのフォーマットを詳しく示す説明図、図5は図3のコントロール(CONT)パックのフォーマットを詳しく示す説明図、図6は図5のPCIDデータを詳しく示す説明図、図7は図5のデータサーチ情報(DSI)を詳しく示す説明図、図8は図3のリアルタイム情報データ(D)パックのフォーマットを詳しく示す説明図、図9は図8のオーディオキャラクタディスプレイ(ACD)エリアのフォーマットを詳しく示す説明図、図10は図9のネームスペース情報により表示される例を示す説明図、図11は図3のリアルタイム情報データ(D)パックの他のフォーマットを詳しく示す説明図である。また、図21は本発明に係るDVD-Avdディスクのデータ構造を説明する図、図22は本発明に係るDVDオーディオディスクのデータ構造を説明する図、図23は従来のDVDのディスク構造を説明する図である。

【0015】

また、図12は本発明に適用されるディスク再生装置の一実施形態としてDVD再生装置を示すブロック図、図13は図12のDVD再生装置を機能的に示すブロック図、図14及び図15はA-V-D同期再生処理を説明するためのフローチャート、図16は図12及び図13の文字表示回路を詳細に示すブロック図、図17は図13のDVD再生装置の変形例を示すブロック図、図18は図13のDVD再生装置の他の変形例を示すブロック図である。

【0016】

本発明に適用されるディスクのフォーマットは、大別して図3(a)に示すDVD-ビデオ部と図3(b)に示すDVD-オーディオ部により構成されている。DVD-ビデオ部のフォーマットは先頭のビデオマネージャ(VMG)と、それに続く複数のビデオタイトルセット(VTS)の各エリアにより構成され、他方、DVD-オーディオ部のフォーマットはこれに対応してオーディオマネージャ(AMG)と、AMGに続く複数のオーディオタイトルセット(ATS)の各エリアにより構成されている。

【0017】

VTSの各々は先頭のVTSインフォメーション(VTSI)と、それに続く1以上のビデオコンテンツブロックセット(VCBS)と最後のVTSIにより構成され、他方、ATSの各々はこれに対応して先頭のATSインフォメーション(ATSI)と、それに続く1以上のオーディオコンテンツブロックセット(ACBS)と最後のATSIにより構成されている。ATSIには、ACBS内の各曲の演奏時間が実時間でセットされる。

【0018】

VCBSの各々は複数のVCBにより構成され、他方、ACBSの各々は複数のACBにより構成されている。VCBの各々はビデオの1タイトル(Title)分であり、ACBの各々はこれに対応してオーディオの1アルバム(Album)分である。VCBの各々(1タイトル)は複数のチャプタ(Chapter)により構成され、他方、ACBの各々(1アルバム)はこれに対応して複数のトラック(Track)により構成されている。チャプタはパートオブタイトル(POT)を含み、トラックはパートオブタイトル(POT)を含む。

【0019】

チャプタの各々は複数のセル(CELL)により構成され、他方、トラックの各々はこれに対応して複数のインデックスにより構成されている。セルの各々は複数のVCBユニッ

10

20

30

40

50

ト (V C B U) により構成され、他方、インデックス (I n d e x) の各々はこれに対応して複数の仮想 A C B (A C B) により構成されている。V C B ユニットと A C B の各々は、複数のパックにより構成され、1 パックは 2 0 4 8 バイトで構成されている。

【 0 0 2 0 】

V C B ユニットの各々は、コントロールパック (以下、C O N T パック) を先頭として、0 . 4 ~ 1 . 0 秒分の任意の数のビデオ (V) パック、オーディオ (A) パック及びサブピクチャ (S P) パックにより構成されている。他方、A C B の各々は、任意の数の A パックと 1 . 0 秒以上の間隔のリアルタイム情報データ (D) パックにより構成されている。すなわち、A C B は仮想の単位であり、実際には境界を示すパックはない。

【 0 0 2 1 】

C O N T パックには図 5 ~ 図 7 に詳しく示すように、後続の V パックなどを制御する情報が配置される。また、図 4 に示すように A パックにはオーディオデータが配置され、V パックにはビデオデータその他、オーディオデータ以外の例えばクロズドキャプション (C C) データが配置される。また、図 8 に示すように D パックには、A パック内のオーディオデータに関する文字情報とその表示時間が配置される。

【 0 0 2 2 】

隣接する A パック A 1、A 2 は、オーディオ信号がお互いに関連するように配置され、例えばステレオの場合には L チャネルパックと R チャネルパックが隣接して配置される。また、5 / 6 / 8 チャネルのマルチチャネルの場合にも同様に隣接して配置される。また、オーディオ信号の再生時に文字を表示する場合にはその A パックと D パックが隣接して配置され、更にオーディオ信号の再生時に映像を表示する場合にはその V パック (静止画) と A パックが隣接して配置される。

【 0 0 2 3 】

A パック、V パック及び D パックは、図 4 に示すように 2 0 3 4 バイトのユーザデータ (A データ、V データ) に対して 4 バイトのパックスタート情報と、6 バイトの S C R (S y s t e m C l o c k R e f e r e n c e : システム時刻基準参照値) 情報と、3 バイトの M u x r a t e 情報と 1 バイトのスタッフィングの合計 1 4 バイトのパックヘッダが付加されて構成されている (1 パック = 合計 2 0 4 8 バイト) 。この場合、タイムスタンプである S C R 情報を、A C B ユニット内の先頭パックでは「 1 」として同一アルバム内で連続とすることにより同一アルバム内の A パックの時間を管理することができる。

【 0 0 2 4 】

次に図 5 ~ 図 7 を参照して C O N T パックの構成について詳しく説明する。この C O N T パックは D V D ビデオ規格ではナビゲーション・パック、通称ナビ (N V) パックと呼ばれており、1 4 バイトのパックヘッダと、2 4 バイトのシステムヘッダと、P C I (プレゼンテーション・コントロール・インフォメーション) パケットと D S I (データ・サーチ・インフォメーション) パケットにより構成されている。P C I は再生制御情報と呼ばれており、この P C I パケットは 6 バイトのパケットヘッダと、1 バイトのサブストリーム I D と図 6 に詳しく示すような 9 7 9 バイトの P C I データにより構成され (合計 9 8 6 バイト) 、また、D S I パケットは 6 バイトのパケットヘッダと、1 バイトのサブストリーム I D と図 7 に詳しく示すような 1 0 1 7 バイトの D S I データにより構成されている (合計 1 0 2 4 バイト) 。

【 0 0 2 5 】

P C I データは V O B U の再生を制御するナビゲーション・データであり、図 6 に詳しく示すように 6 0 バイトの P C I 一般情報 (P C I G I) と、3 6 バイトの非シームレス用アングル情報 (N S M L A G L I) と、6 9 4 バイトのハイライト情報 (H L I) と 1 8 9 バイトの記録情報 (R E C I) の 4 つの情報により構成されている。ここで、図 3 (a) における V C B U は、D V D ビデオ規格における V O B U と同一である。

【 0 0 2 6 】

図 5 に示したデータサーチ情報 (D S I) はデータをサーチして、V O B U のシームレス再生を実行するためのナビゲーションデータであり、図 7 に詳しく示すように

10

20

30

40

50

- ・ 32 バイトの D S I 一般情報 (D S I G I) と、
- ・ 148 バイトのシームレス再生情報 (S M L P B I) と、
- ・ 54 バイトのシームレス用アングル情報 (S M L A G L I) と、
- ・ 168 バイトの V O B U サーチ情報 (V O B U S R I) と、
- ・ 144 バイトの同期情報 (S Y N C I) と、
- ・ 471 バイトの保留エリアの合計 1017 バイトにより構成されている。

【 0027 】

これに対し、D パックは図 8 に示すように、14 バイトのパックヘッダと、24 バイトのシステムヘッダと、1003 バイトの A C D (オーディオキャラクターアルタイム情報データ) パケットと、1007 バイトの S E C (サウンドエフェクトコントロール) パケットにより構成されている。A C D パケットは 6 バイトのパケットヘッダと、1 バイトのサブストリーム I D と、図 9 に詳しく示すような 676 バイトの A C D (オーディオキャラクターディスプレイ) 情報と、294 バイトのオーディオ再生制御情報 + 26 バイトの保留エリアの合計 320 バイトにより構成されている。S E C パケットは同じく 6 バイトのパケットヘッダ及び 1 バイトのサブストリーム I D と、図 11 に詳しく示すような 1000 バイトの S E C (サウンドエフェクトコントロール情報) データにより構成されている。

10

【 0028 】

ここで、図 9 (A) 及び図 11 (A) は第 1 の例を示し、図 9 (B) 及び図 11 (B) は第 2 の例を示している。第 1 の例における 676 バイトの A C D 情報エリアは、図 9 (A) に詳しく示すように 48 バイトのジェネラル情報エリアと、各々 294 バイトの文字「1」、「2」の情報エリアと、16 バイトの表示時間制御データエリアと 24 バイトの保留エリアにより構成されている。

20

【 0029 】

文字「1」、「2」の各情報エリアは 93 バイトのネームスペースエリアと、各々 93 バイトの 2 つのフリースペースエリアと 15 バイトのデータポインタエリアにより構成されている。ネームスペースエリアには例えば図 10 に示すような楽曲名を表示するために 31 バイトの 1 / 4 角のヘッダ用文字データと、62 バイトの全角、半角の本文用文字データが配置される。16 バイトの表示時間制御データエリアには、文字の表示開始時間と終了時間として A パックのアドレス (タイミング時間) が共に 8 バイトで配置される。

【 0030 】

48 バイトのジェネラル情報は、例えば 16 バイトのサービスレベル情報と、12 バイトの言語コード情報と、6 バイトの文字セットコード情報と、6 バイトの表示アイテム情報と、2 バイトの「前の A C D 情報との相違」情報と、6 バイトの保留情報により構成される。16 バイトのサービスレベル情報は、表示サイズ、表示の種類、オーディオ / ビデオ / S P の区別、ストリームなどを示し、また、文字はマンガトリー、ビットマップはオプションである。6 バイトの文字セットコード情報はビデオファイルと同様に文字「1」「2」の言語をそれぞれ 2 バイトで示し、1 ファイル中最大 8 言語分を示す。英語はマンガトリーである。

30

【 0031 】

6 バイトの文字セットコード情報は、言語コードに対応した文字コードを最大 15 個持つことが可能であり、文字「1」「2」の言語の有無と種類を 1 バイトで示す。コード例を以下に示す。

40

1. I S O 6 4 6
2. I S O 8 8 5 9 - 1
3. M S - J I S

6 バイトの表示アイテム情報は、図 9 に示すフリースペース「1」「2」、データポインタの有無、I D を示す。ネームスペースはマンガトリーであり、アルバムネーム、ミュージックネーム、アーティストネームは必ず記述する。

【 0032 】

図 8 に示す 1000 バイトの S E C (サウンドエフェクトコントロール) データの内容は

50

任意であり、例えば各々 25 バイトの 40 種類分のサウンドエフェクトコントロール情報により構成される。1 種類分のオーディオ再生制御情報エリアには 20 バイトのグラフィックイコライザ情報と、3 バイトのレベルバランス情報と 2 バイトの残響付加情報が配置され、この情報はユーザにより選択されてオーディオ信号の音質が制御される。これらのオーディオ再生制御情報は、A バックに配置されている楽曲をユーザが再生する場合に例えばその楽曲のジャンル（クラシック、ジャズ、ロック、BGM）に応じて、また、同一ジャンルであってもその楽曲の演奏状態、録音状態、雰囲気などに応じて再生時の音質が最も良くなるようにいわゆるプロのミキサーが推奨するデータである。

【0033】

ACD と SEC は同じバックに記録する代わりに、別々のバックに分離して記録するようにしてもよい。すなわち、第 1 の実施形態の第 2 の例として、図 11 (A) に示すように ACD のみのパケットを有するバックと、図 11 (B) に示すように SEC のみのパケットを有するバックを設けてもよい。この場合、パケットの長さは、2010 バイトの範囲で自由に設定される。パケットヘッダは ACB の最初のものであるには 17 バイトであり、それ以外のものであるには 14 バイトである。プライベートヘッダはサブストリーム ID (1 バイト)、バック種類 ID である RTI - INFO フラグ (1 バイト) など含む最大 12 バイトで構成される。リアルタイム情報 (1979 バイト) は、バック種類 ID である RTI - INFO フラグが「0000b」の場合に ACD が記録され、「0001b」の場合に SEC が記録される。

【0034】

以上のバックにより、図 21、図 22 に示すような本発明に適用されるデータ構造のディスクが構成される。ところで、図 23 に示すように DVD ビデオディスクのデータフォーマットはビデオタイトルセット (VTS) のみを含み、また、図 22 に示すように DVD オーディオディスクのデータフォーマットはオーディオタイトルセット (ATS) のみを含む。そして、図 21 に示すディスクは DVD - Avd (オーディオ - AV データ) ディスクと呼ばれ、ビデオタイトルセット (VTS) とオーディオタイトルセット (ATS) の両方を含む。また、この ATS はオーディオマネージャ (AMG) と複数の ATS < 1 >、ATS < 2 > を含む。

【0035】

したがって、図 22 に示すフォーマットによれば、オーディオデータを有するオーディオ専用のタイトルに対して、オーディオデータを含む第 1 のバックと、前記第 1 のバック内の前記オーディオデータに関するサウンド制御情報とその適用時間を制御する適用時間制御データを含む第 2 のバックと、前記第 1 のバックの再生を管理する情報を含む AMG I 管理エリアとを配置したデータ構造を有する DVD オーディオディスクが実現される。

【0036】

また、図 21 に示すフォーマットによれば、オーディオデータを有するオーディオ専用のタイトルに対して、オーディオデータを含む第 1 のバックと、前記第 1 のバック内の前記オーディオデータに関するサウンド制御情報とその適用時間を制御する適用時間制御データを含む第 2 のバックと、前記第 1 のバックの再生を管理する情報を含む AMG I 管理エリアとを配置するとともに、前記オーディオデータ及びビデオデータを有するタイトルに対して、オーディオデータを含む第 1 のバックと、ビデオデータを含む第 3 のバックと、前記第 1、第 3 のバックの再生を制御する情報を含む DVD ビデオ規格のナビゲーションバックと、前記第 1、第 3 のバックの再生を管理する情報を含む VMGI 管理エリアを配置したデータ構造を有する DVD - Avd ディスクが実現される。

【0037】

次に図 24 を参照して上記の 3 種類のディスクを再生する方法について説明する。方法 4 によれば、オーディオ専用のタイトルである図 21 の ATS < 2 > と、図 22 の ATS < 1 > 及び ATS < 2 > は、AMGI により ATS I を介して ACBS にアクセスすることにより再生することができる。なお、方法 1、2、3 はビデオタイトルをアクセスする際に AMG I を用いることを示している。したがって、本発明の上記の 2

10

20

30

40

50

種類のオーディオディスクは、DVDのファミリーとしてDVDと互換性を保って再生することができる。

【0038】

次に、図12を参照して本発明に適用されるDVD再生装置について説明する。ディスク1には、上記構造のデータがEFM変調されてピットの形式で記録されている。操作部18やリモコン装置19により曲目選択、再生、早送り、停止操作などが行われると、制御部23はその操作に応じてドライブ装置2と再生装置17を制御し、再生時にはディスク1に記録されたピットデータがドライブ装置2により読み取られた後、EFM復調される。

【0039】

再生装置17では、この信号がCONTパック検出部3と、Aパック及びDパック検出部9に送られる。CONTパック検出部3はこの再生データ中のCONTパックを検出して制御パラメータをパラメータ部8、14に設定するとともに、CONTパックにより制御されるVパックをVパックバッファ4に順次書き込む。Vパックバッファ4に書き込まれたVパック内のユーザデータ（ビデオ信号、サブピクチャ情報）は、バッファ取り出し部5によりVパック内のSCR（図4参照）に基づいてパック順に、また、CONTパック内のPTSに基づいて出力時刻順に取り出され、次いで画像変換部6、D/A変換部7、ビデオ出力端子15、15'を介してアナログビデオ信号として出力される。これらのブロック3～8はビデオ処理部17Vを構成し、このビデオ処理部17Vは制御部23の制御に基づいて内部電源スイッチ制御部30が電源スイッチSWをオンにしている場合に動作する。

【0040】

また、Aパック及びDパック検出部9は、再生データ中のAパックとDパックを検出してA及びDパックバッファ10に順次書き込む。A及びDパックバッファ10に書き込まれたAパック内のユーザデータ（オーディオ信号）は、取り出し部11によりSCRに基づいてパック順に、また、TOC情報内のオーディオサーチデータなどに基づいて指示されたパックから順に取り出され、次いでPCM変換部12、D/A変換部13、オーディオ出力端子16を介してアナログオーディオ信号として出力される。

【0041】

また、Dパック中の表示用データ（図8、図9に示すオーディオキャラクタディスプレイ情報ACD）は表示信号生成部20に送られて表示信号が生成され、この表示信号は表示信号出力端子22を介して出力されたり、内蔵の文字表示部21に出力される。

【0042】

図13は図12に示す構成を機能的に示すブロック図である。再生手段2は図12に示すドライブ装置2に対応し、再生信号処理分離手段A・D（9、10、11、14）はAパック及びDパック検出部9、A及びDパックバッファ10、取り出し部11及びパラメータ部14に対応し、オーディオ信号出力手段（12、13）はPCM変換部12及びD/A変換部13に対応している。また、文字情報出力手段20は表示信号生成部20に対応し、表示手段21は文字表示部21に対応している。また、再生信号処理分離手段V（3、4、5、8）はCONTパック検出部3、Vパックバッファ4、取り出し部5及びパラメータ部8に対応し、ビデオ信号出力手段及びサブピクチャ情報手段（6、7）は画像変換部6及びD/A変換部7に対応している。制御手段23は制御部23に対応している。

【0043】

図13において、制御手段23は操作部18やリモコン装置19から目的の楽曲を再生するためのコマンド信号が送られてくると、その再生コマンドに応じたアドレス制御情報信号を再生手段2に送ることによりディスク1から目的の楽曲を再生する。再生信号処理分離手段A・Dは再生データをオーディオ信号と文字情報に分離してオーディオ信号をオーディオ信号出力手段（12、13）に送り、文字情報を文字情報出力手段20に送る。再生信号処理分離手段Vは再生データをCONT情報とビデオ信号及びサブピクチャ情報に分離してCONT情報を制御手段23に送り、ビデオ信号とサブピクチャ情報をそれぞれ

10

20

30

40

50

ビデオ信号手段とサブピクチャ情報手段（６、７）に送る。

【００４４】

また、ＡＭＧＩ（オーディオマネージャインフォメーション）や、ＡＴＳＩ（オーディオタイトルセットインフォメーション）の所定エリアに対してＴＯＣ情報を追加して記録し（ＴＯＣ情報はＤＶＤオーディオではＳＡＰＰと呼ばれることもある）、再生装置がこのＴＯＣ情報にアクセスしてＴＯＣ情報記憶部１４Ａを構成するメモリに記憶して曲の頭出しを行うことができる。このＴＯＣ情報としては、ＣＤのリードインエリアに記録されているものを用いることができる。

【００４５】

そして、このＴＯＣ情報は再生開始時に読み取られてＴＯＣ情報記憶部１４Ａに記憶され、曲又は楽章の頭出し再生が指定されると、このＴＯＣ情報記憶部１４Ａを参照してディスク１にアクセスする。なお、このＴＯＣ情報はまた、図１３に示すようにディスク１の最内周部のリードインエリア（図示ＴＯＣ領域１ａ）に追加して記録し、再生開始時にはＴＯＣ検出手段２４がこのＴＯＣ領域１ａを独立してアクセスしてＴＯＣ情報記憶部１４Ａに記憶するようにしてもよい。

10

【００４６】

次に、図１４、図１５を参照してＴＯＣ情報やサーチ情報などの再生制御情報を用いたＡ－Ｖ－Ｄ同期再生処理を説明する。図１４において例えば曲又は楽章の頭出し再生が指定されると、その指定位置に対応するＴＯＣ情報を参照し（ステップＳ１）、次いでそのＴＯＣ情報に基づいてセルとインデックスの場所を計算する（ステップＳ２）。次いでその場所をサーチし（ステップＳ３）、確認すると図１５に詳しく示すようなＡパック、Ｖパック及びＤパックの同期再生を行う（ステップＳ４　Ｓ５）。

20

【００４７】

図１５において、ＣＯＮＴパックを再生し（ステップＳ１１）、次いでＡパックとＶパック内の時刻情報が同一時刻か否かをチェックする（ステップＳ１３）。そして、同一時刻でない場合にはＣＯＮＴパックを±１パック分だけ調整し（ステップＳ１４）、次いでステップＳ１１に戻ってそのＣＯＮＴパックを再生する。

【００４８】

ステップＳ１３においてＡパックとＶパック内の時刻情報が同一の場合に、Ａパック又はＤパックを再生すると共にＡパックアドレス又はＤパックアドレス（ＳＣＲ情報）を１つインクリメントし（ステップＳ１５）、次いでそのＣＯＮＴパックにより制御されるＶパックを再生すると共にＶパックアドレス（ＳＣＲ情報）を１つインクリメントする（ステップＳ１６）。次いでそのＡパック又はＤパックの再生が終了したか否かをチェックし（ステップＳ１７）、終了していない場合にはステップＳ１８に進み、他方、終了した場合にはステップＳ２０に進む。

30

【００４９】

ステップＳ１８ではそのＶパックの再生が終了したか否かをチェックし、終了していない場合にはステップＳ１３に戻り、他方、終了した場合にはステップＳ１９に進む。ステップＳ１９ではそのＣＯＮＴパックにより制御される次のＶパックを再生すると共にＶパックアドレスを１つインクリメントし、ステップＳ１３に戻る。ステップＳ２０では次のＡパック又はＤパックを再生すると共にＡパックアドレス又はＤパックアドレスを１つインクリメントし、次いでＶパックの再生が終了したか否かをチェックし（ステップＳ２１）、終了していない場合にはステップＳ１６に戻り、他方、終了した場合にはステップＳ２３に進む。

40

【００５０】

ステップＳ２３ではそのＣＯＮＴパックにより制御される次のＶパックを再生すると共にＶパックアドレスを１つインクリメントし、次いでフレームの終了（ＥＯＦ）が否かをチェックし（ステップＳ２４）、ＥＯＦでない場合にはステップＳ１３に戻り、他方、ＥＯＦの場合にはこのＡ－Ｖ－Ｄ同期再生処理を終了する。なお、ＣＯＮＴパックがないオーディオディスクの場合には、図１５に示す同期は必要としない。

50

【 0 0 5 1 】

次に、図 1 6 を参照して文字表示回路 2 0、2 1 を詳細に説明する。D パック内の表示時間データは表示時間デコーダ 5 1 により表示開始時間データと表示終了時間データに分離され、この各データはスタートコンパレータ 5 2 とエンドコンパレータ 5 3 に印加される。また、D パック内の文字データは文字データデコーダ 5 4 により表示用のドットマトリクス文字データに変換され、このデータはバッファ 5 5 に格納される。

【 0 0 5 2 】

そして、スタートコンパレータ 5 2 は表示開始時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時にバッファ 5 5 に対してドットマトリクスの読み出し開始制御信号を送ると共にディスプレイ 5 6 (2 1 ') に対して表示オンの制御信号を送る。また、エンドコンパレータ 5 3 は表示終了時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時に表示時間デコーダ 5 1 に対して次の文字時間データを出力するためのタイミング信号を送ると共にディスプレイ 5 6 (2 1 ') に対して表示オフの制御信号を送る。

【 0 0 5 3 】

図 1 7 は第 1 の実施形態の変形例として、図 1 2 の DVD 再生装置におけるビデオ処理部 2 7 V が省略されて V パックを再生しないオーディオ専用再生装置を示している。この場合、再生信号処理分離手段 9、1 0、1 1、1 4 は、オーディオ信号出力手段 1 2、1 3 が出力中の A パックの表示を制御する D パックより前の D パック内の SEC 情報を先読みして SEC 記憶部 1 4 B に格納する。なお、この変形例では、SEC 情報内の文字情報を表示手段 2 1 として平面マトリクスディスプレイ 2 1 ' に表示するように構成されている。

【 0 0 5 4 】

図 1 8 は第 1 の実施形態の他の変形例として、ディスク 1 の最内周部のリードインエリア (図示 TOC 領域 1 a) に追加して記録し、再生開始時には TOC 検出手段 2 4 がこの TOC 領域 1 a を独立してアクセスして TOC 情報記憶部 1 4 A を構成するメモリに記憶するオーディオ専用再生装置を示している。また、この構成では、図 8 に示す SEC パケット内にプロのミキサが推奨する音質で再生するためのオーディオ再生制御情報が記録されている場合、音質制御情報出力手段 3 1 と音質 / レベル制御処理手段 3 2 を設けてこの制御情報に基づいて音質を制御するように構成されている。

【 0 0 5 5 】

なお、図 1 1 に示すように D パックが ACD と SEC に分離されている場合には、その識別手段を再生信号処理分離手段 9 ' に設けてその識別結果により、図 2 5 に示すように文字情報出力手段 2 0 と音質 / レベル制御情報出力 3 1 に分別して供給する。この場合、図 2 6 に示すような構成により、制御開始時間データと制御終了時間を用いてサウンドエフェクト制御を行うことができる。

【 0 0 5 6 】

次に第 2 の実施形態について説明する。この第 2 の実施形態では第 1 の実施形態と同様に D パックを設けて、D パックの ACD パケットには図 9 (B) に示すように文字情報は配置されるが表示時間データは配置されない。そして、この表示時間データ (8 × 2 バイト) は図 7 に示す CONT パック内のデータサーチ情報 (DSI) の保留エリア (4 7 1 バイト) に配置される。

【 0 0 5 7 】

次に第 3 の実施形態について説明する。この第 3 の実施形態では第 1 の実施形態と同様に D パックを設けて、D パックの ACD パケットには図 9 (B) に示すように文字情報は配置されるが表示時間データは配置されない。そして、この表示時間データ (8 × 2 バイト) と最大 5 2 バイトの表示時間データ以外の統括表示制御データが図 7 に示す CONT パック内のデータサーチ情報 (DSI) の保留エリア (4 7 1 バイト) に配置される。

【 0 0 5 8 】

統括表示制御データとしては、一例として図 1 6 に示すディスプレイ 5 6 より画素数が大きな表示装置に表示するために、2 × 8 個の文字情報を合成して表示するための表示制御

10

20

30

40

50

データとして 8 バイトの表示開始アドレス (A C D の表示開始アドレスに応じたアドレス) と、同じく 8 バイトの分割数データが配置される。

【 0 0 5 9 】

図 1 9 はこの第 3 の実施形態のフォーマットの文字を表示するための文字表示回路を示し、表示時間デコーダ 5 1、スタートコンパレータ 5 2、エンドコンパレータ 5 3、文字デコーダ 5 4、バッファ 5 5 及びディスプレイ 5 6 は図 1 6 と同一の構成である。ここで、バッファ 5 5 及びディスプレイ 5 6 は図 1 0 に示すように、1 行当たり全角 1 5 文字 (半角 3 1 文字) × 2 . 5 行の文字を表示可能に構成され、これを 1 セットとする。そして、ビデオディスプレイプロセッサ 5 9 内の V - R A M 5 9 a は図 2 0 に示すように 2 × 8 セット分の文字情報を記憶可能な容量を有する。

10

【 0 0 6 0 】

図 1 9 に示す文字表示装置は、1 セットの文字情報をディスプレイ 5 6 に表示する通常モードと、2 × 8 セットの文字情報を外部出力端子 1 5 を介して外部の不図示の表示装置に表示させる特殊モードを有し、通常モードの動作は図 1 6 と略同一である。すなわち、通常モード時には C O N T パック内の表示時間データが表示時間デコーダ 5 1 により表示開始時間データと表示終了時間データに分離され、この各データはスタートコンパレータ 5 2 とエンドコンパレータ 5 3 に印加される。また、D パック内の文字データは文字データデコーダ 5 4 により表示用のドットマトリクス文字データに変換され、このデータがバッファ 5 5 に格納される。

【 0 0 6 1 】

20

そして、スタートコンパレータ 5 2 は表示開始時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時にバッファ 5 5 に対してドットマトリクスの読み出し開始制御信号を送ると共にディスプレイ 5 6 (2 1 ') に対して表示オンの制御信号を送る。また、エンドコンパレータ 5 3 は表示終了時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時に表示時間デコーダ 5 1 に対して次の表示時間データを出力するためのタイミング信号を送ると共にディスプレイ 5 6 (2 1 ') に対して表示オフの制御信号を送る。

【 0 0 6 2 】

他方、特殊モード時には D パック内の表示時間データが表示時間デコーダ 5 1 により表示開始時間データと表示終了時間データに分離され、この各データはスタートコンパレータ 5 2 とエンドコンパレータ 5 3 に印加されるとともに、C P U 6 0 にも印加される。また、D パック内の文字データは文字データデコーダ 5 4 により表示用のドットマトリクス文字データに変換され、このデータがバッファ 5 5 に格納される。さらに、C O N T パック内の表示開始アドレス (A C D の表示開始アドレスに応じたアドレス) と分割数データは統括表示制御データデコーダ 5 8 によりデコードされて C P U 6 0 に印加される。

30

【 0 0 6 3 】

そして、スタートコンパレータ 5 2 は表示開始時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時にバッファ 5 5 に対してドットマトリクスの読み出し開始制御信号を送り、また、エンドコンパレータ 5 3 は表示終了時間データと再生中の A パックアドレスを比較し、一致した時に表示時間デコーダ 5 1 に対して次のセットの表示時間データを出力するためのタイミング信号を送る。

40

【 0 0 6 4 】

そして、C P U 6 0 は統括表示制御データデコーダ 5 8 によりデコードされた各セットの表示開始アドレスと分割数データに基づいて、表示時間デコーダ 5 1 によりデコードされた各セットの表示開始時間データをチェックし、一致した時にディスプレイプロセッサ 5 9 内の V - R A M 5 9 a に対して 1 セット分の書き込みアドレスを指定する。

【 0 0 6 5 】

これにより、バッファ 5 5 から読み出された 1 セット分のドットマトリクスデータは、ビデオディスプレイプロセッサ 5 9 内の V - R A M 5 9 a に対して、C P U 6 0 により表示開始アドレスと分割数データに基づいて指定されたアドレスに書き込まれ、以下同様にして 1 6 セット分のドットマトリクスデータが V - R A M 5 9 a に書き込まれる。ビデオデ

50

イスブレイプロセッサ 59 はこの 16 セット分のドットマトリクスデータを 1 画面のビデオ信号に展開し、このビデオ信号が外部出力端子 15 を介して外部の不図示の表示装置に出力される。

【0066】

【発明の効果】

以上詳述したように本発明によれば、第 1 のオーディオパック内のオーディオデータに関する文字情報とその表示時間を制御する表示時間制御データ、及び文字情報の文字コードを指定するために設けられる文字セットコードデータを含む文字表示パックと、第 1 のオーディオパックの再生を制御する情報を含む A M G I 管理エリアとを配置したデータ構造を有し第 1 のオーディオパックと文字表示パックとを含む曲からなる第 1 のファイル構造と、ビデオデータを含むビデオパックと、ビデオデータのオーディオデータを含む第 2 のオーディオパックと、ビデオパックと第 2 のオーディオパックの再生を制御する情報を含む V M G I 管理エリアとを配置したデータ構造を有しビデオパックと第 2 のオーディオパックとを含むタイトルからなる第 2 のファイル構造とを記録する共に、M G I 管理エリアには前記第 1 のオーディオパックの再生を制御する第 1 の情報に加え前記ビデオパックと前記第 2 のオーディオパックの再生を制御する第 2 の情報を記録することにより、ディスクに対して音楽ソースなどのオーディオデータを主として記録する場合に、それらの内容を示す文字情報を効率的に記録して再生、表示することができる。

10

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明に適用されるオーディオ信号のエンコード装置の一実施形態を示すブロック図である。

20

【図 2】図 1 の信号処理回路を詳細に示すブロック図である。

【図 3】本発明に適用されるディスクのフォーマットを示す説明図である。

【図 4】図 3 のオーディオパックとビデオパックのフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 5】図 3 のコントロール (C O N T) パックのフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 6】図 5 の P C I データを詳しく示す説明図である。

【図 7】図 5 のデータサーチ情報 (D S I) を詳しく示す説明図である。

【図 8】図 3 のリアルタイム情報データ (D) パックのフォーマットを詳しく示す説明図である。

30

【図 9】図 8 のオーディオキャラクタディスプレイ (A C D) エリアのフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 10】図 9 のネームスペース情報により表示される例を示す説明図である。

【図 11】図 3 のリアルタイム情報データ (D) パックの他のフォーマットを詳しく示す説明図である。

【図 12】本発明に適用されるディスク再生装置の一実施形態として D V D 再生装置を示すブロック図である。

【図 13】図 12 の D V D 再生装置を機能的に示すブロック図である。

【図 14】A - V - D 同期再生処理を説明するためのフローチャートである。

40

【図 15】A - V - D 同期再生処理を説明するためのフローチャートである。

【図 16】図 12 及び図 13 の文字表示回路を詳細に示すブロック図である。

【図 17】図 13 の D V D 再生装置の変形例を示すブロック図である。

【図 18】図 13 の D V D 再生装置の他の変形例を示すブロック図である。

【図 19】第 3 の実施形態の文字表示回路を詳細に示すブロック図である。

【図 20】図 19 の V - R A M の記録エリアを示す説明図である。

【図 21】本発明に適用される D V D - A v d ディスクのデータ構造を示す説明図である。

【図 22】本発明に適用される D V D オーディオディスクのデータ構造を示す説明図である。

50

【図 23】従来の DVD ビデオディスクの構造を示す説明図である。

【図 2 4】 図 2 2 ~ 図 2 4 に示すディスクの再生方法を示す説明図である。

【図 2 5】文字情報記録ディスクとサウンド制御記録ディスクの判別処理を示すフローチャートである。

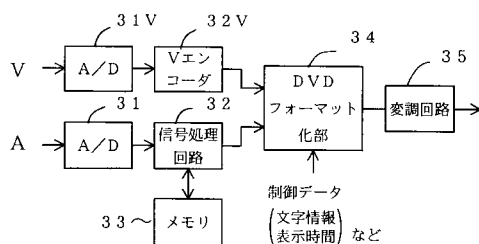
【図 2 6】サウンド制御回路を詳細に示すブロック図である。

【符号の説明】

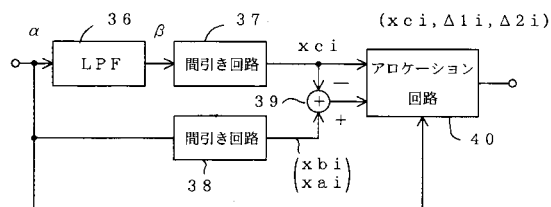
- 1 ディスク
2 再生手段
3 4 DVDフォーマット化部（フォーマット化手段）
5 1 表示時間デコーダ（第2のデコード手段）
5 2 スタートコンパレータ
5 3 エンドコンパレータ
5 4 文字データデコーダ（第1のデコード手段）
5 5 バッファ
5 6 ディスプレイ（スタートコンパレータ5 2、エンドコンパレータ5 3、バッファ5
5 と共に文字情報表示手段を構成する）
5 8 統括表示制御データデコーダ（第2のデコード手段）
5 9 ビデオディスプレイプロセッサ（CPU6 0と共に文字情報表示手段を構成する）
6 0 CPU

10

【圖 1】

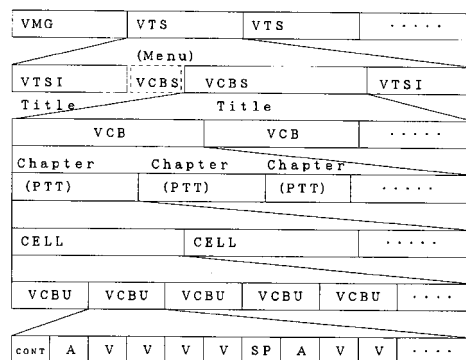


【 図 2 】

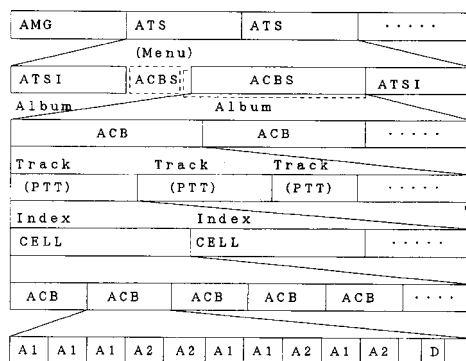


【 圖 3 】

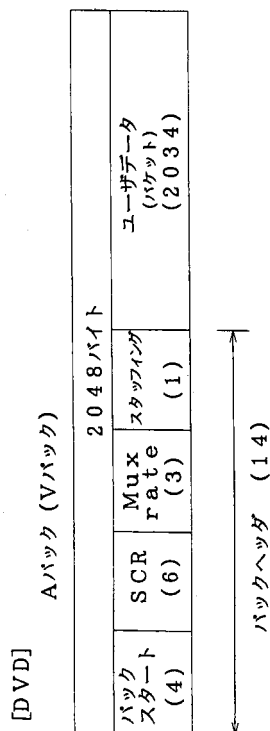
(a) DVD-ビデオ部



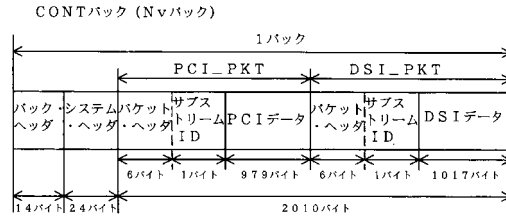
(b) DVD-オーディオ部



【図 4】



【図 5】



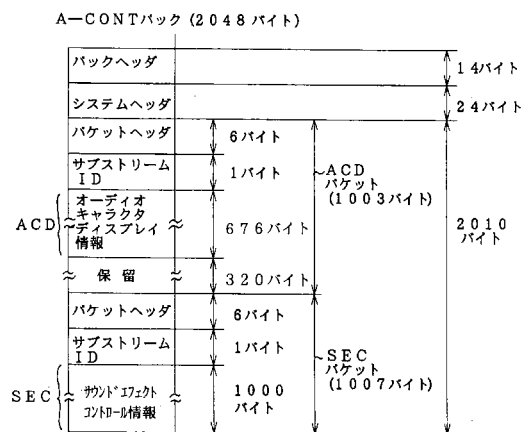
【図 6】

PCIデータ		
	内 容	バイト数
PCI_GI	PCI一般情報	60バイト
NSML_AGLI	非シームレス用アングル情報	36バイト
HLI	ハイライト情報	694バイト
RECI	記録情報	189バイト
	合計	979バイト

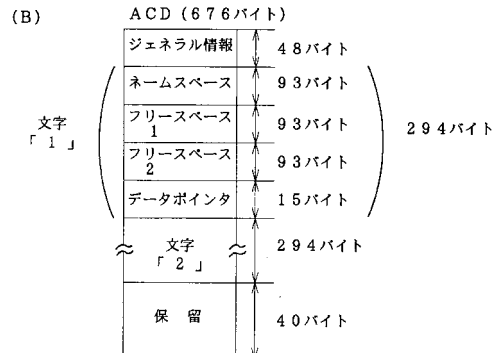
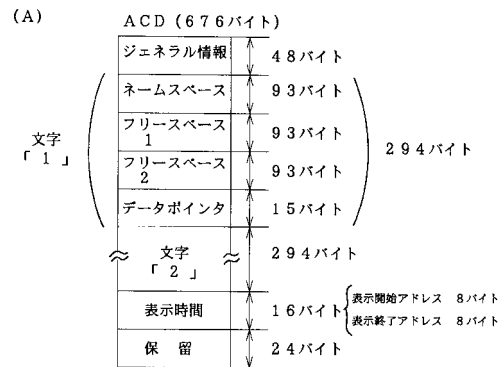
【図 7】

データ・サーチ情報 (DSI)		
	内 容	バイト数
DSI_GI	DSI一般情報	32バイト
SML_PBI	シームレス再生情報	148バイト
SML_AGLI	シームレス用アングル情報	54バイト
VOBU_SRI	VOBUサーチ情報	168バイト
SYNCI	同期情報	144バイト
保 留	保 留	471バイト
	合計	1017バイト

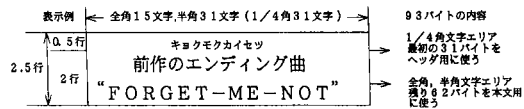
【図 8】



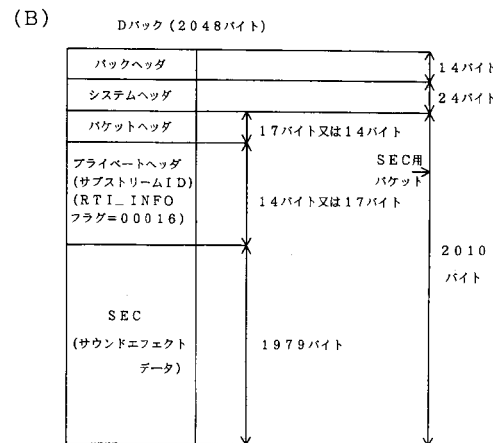
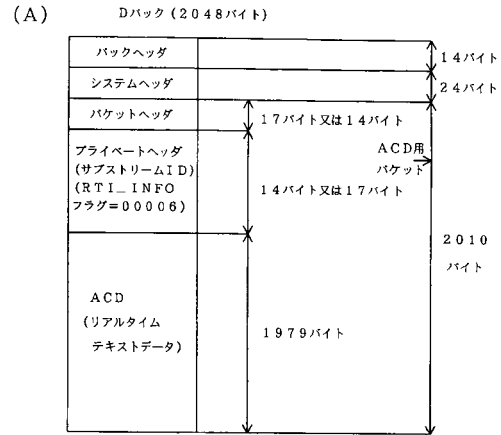
【図 9】



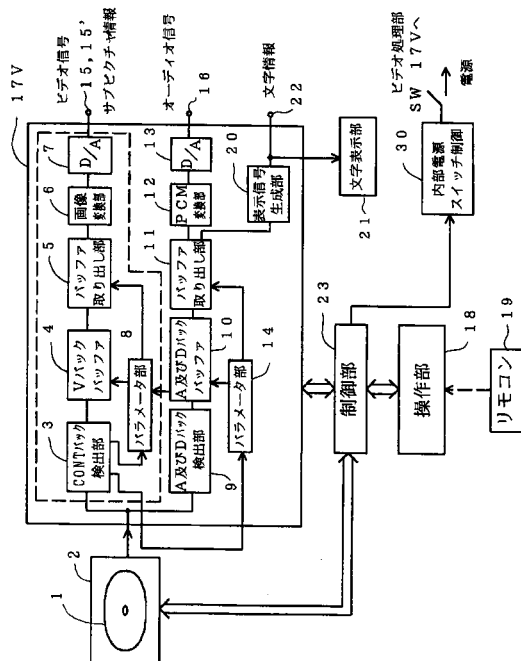
【図 10】



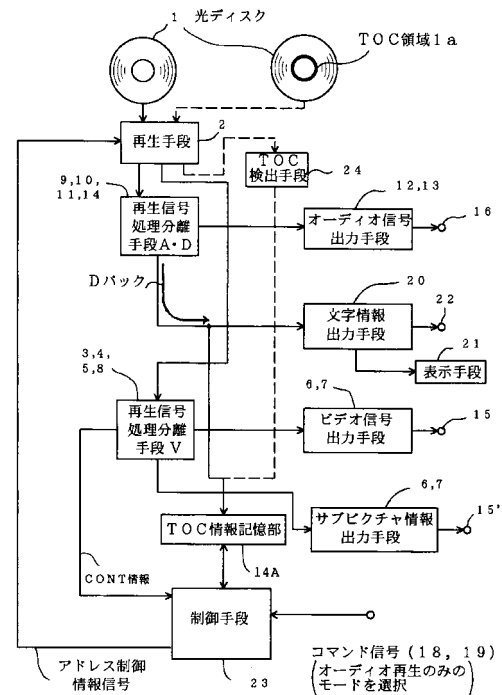
【図 11】



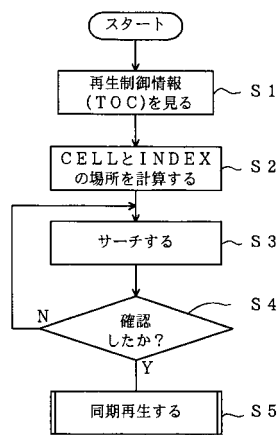
【図 12】



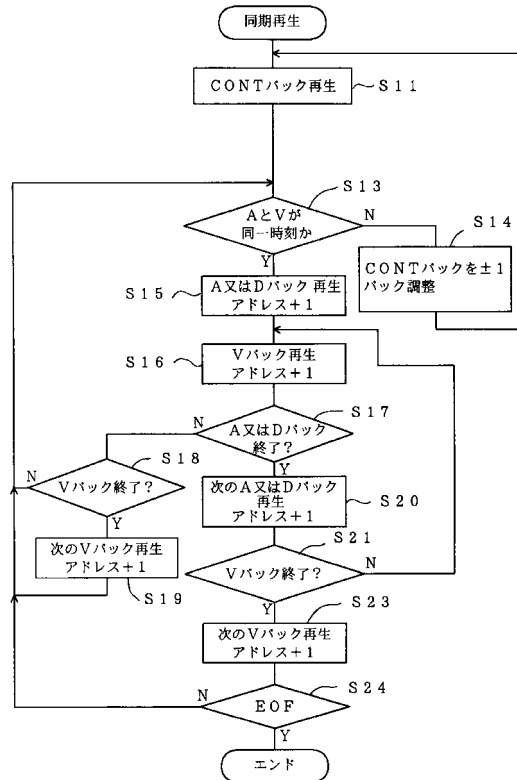
【図 13】



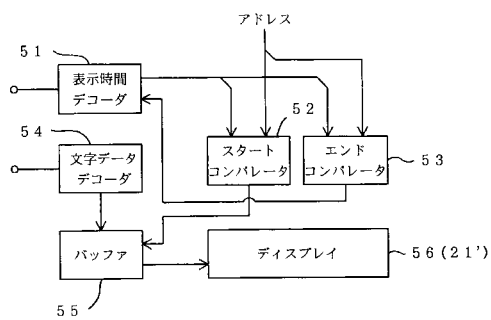
【図 14】



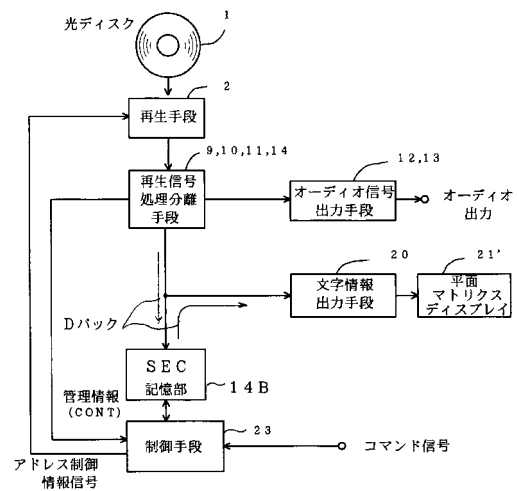
【図 15】



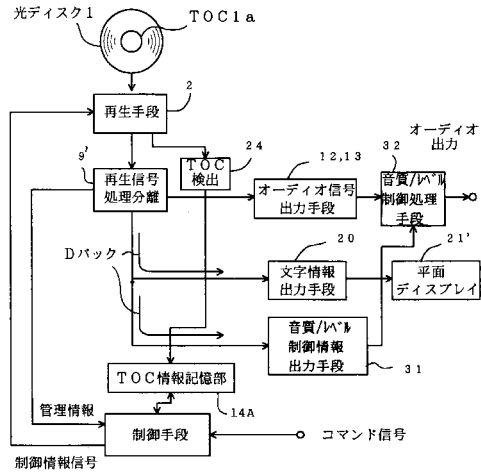
【図 16】



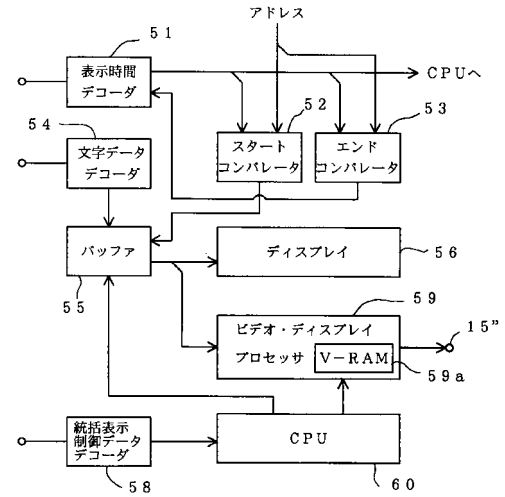
【図 17】



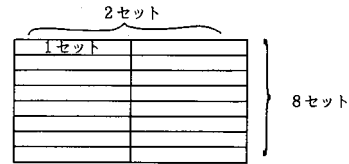
【図 18】



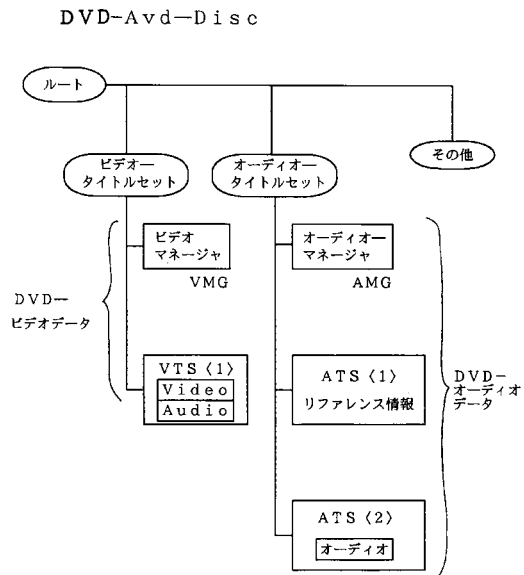
【図 19】



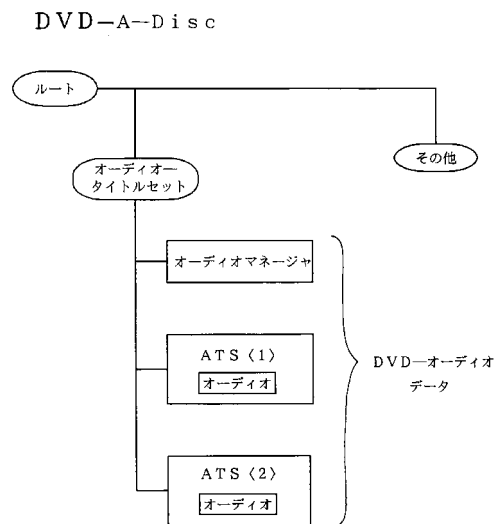
【図 20】



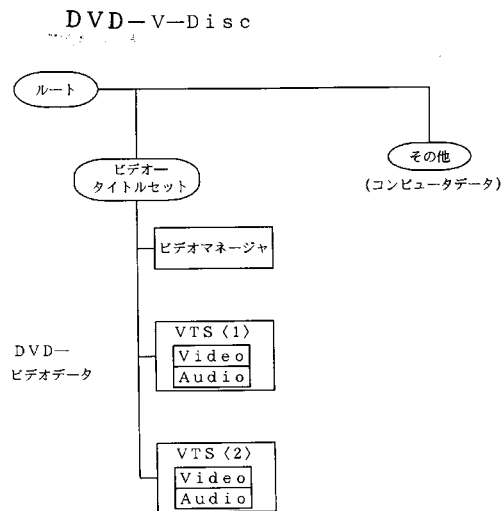
【図 21】



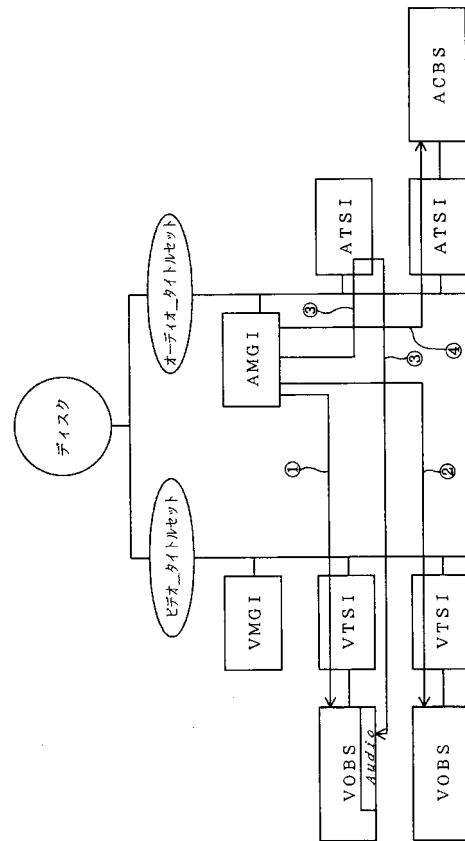
【図 22】



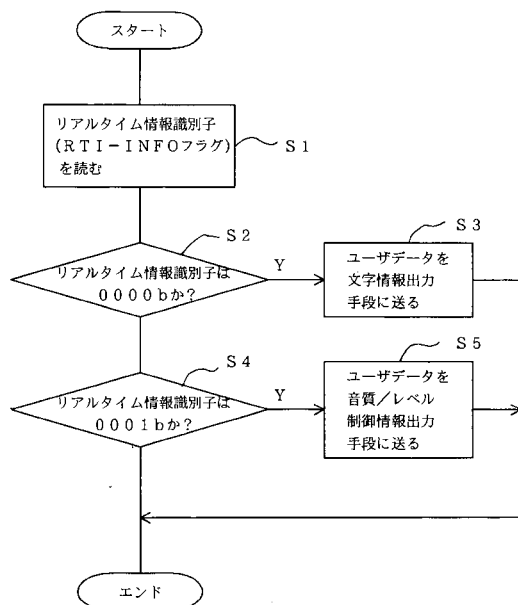
【図 23】



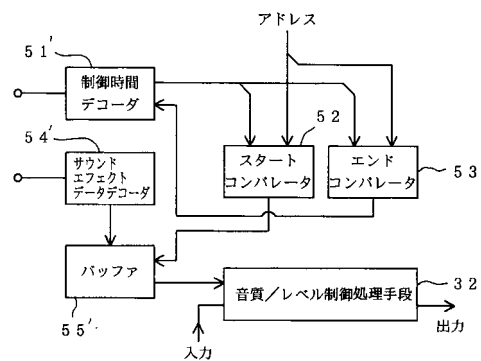
【図 24】



【図 25】



【図 26】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平09-231726(JP,A)
国際公開第97/13361(WO,A1)

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷,DB名)

G11B 20/10

G11B 27/00

H04N 5/92